

2019年 大雨による三孤子川氾濫



東員町では2019年9月に3時間で235ミリの強烈な雨を観測し、住宅50棟が床下浸水するなど被害が発生しました。短時間で大量の雨が降ることによって河川などの水位が一気に上昇し、氾濫してしまうケースが全国で多く見られています。避難が間に合わないまま前に空振りを恐れず、早め早めの避難を心がけましょう。

※9月の1か月間の平均雨量は280ミリ

警戒
レベル

警戒レベル
1

警戒レベル 2

A stylized illustration of three green trees with brown trunks standing in a blue puddle. White diagonal lines represent rain falling against a solid red background.

高齢者や避難に
のかかる方は知
や避難所に避難
始してください。

発令された地区は「警戒レベル5 緊急安全確保」たずに直ちに避てください。緊急確保が発令されらでは手遅れにます。

A stylized illustration of a two-story house and a red car partially submerged in floodwater. Rain is falling diagonally across the scene. The house has a brown roof and a brown door. The car is red. The water is represented by blue wavy lines. The background is dark blue.

- 今すぐに命を最善の行動をてください。
- 浸水しない高部屋に直ちにしてください。
- 土砂災害の危険がある場合は、のりかけから離れ高部屋に直ちにしてください。

〔この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図2500（道路線1000）」を使用した（承認番号：三総合地第151号）〕

指定緊急避難場所（災害時に一時的に身を守る場所）					
	名 称	所在地	洪 水	土 砂	地 震
①	東員第一中学校 校庭	六把野新田557番地	○	○	○
②	東員第二中学校 校庭	城山2丁目1番	○	○	○
③	神田小学校 校庭	六把野新田100番地	○	○	○
④	稲田小学校 校庭	大木944番地	○	○	○
⑤	三和小学校 校庭	長深700番地	×	○	○
⑥	笹尾西小学校 校庭	笹尾西2丁目1番1	○	○	○
⑦	笹尾東小学校 校庭	笹尾東4丁目28番	○	○	○
⑧	城山小学校 校庭	城山1丁目48番	○	○	○
⑨	東員駅前広場	山田1953番地1	○	○	○
⑩	中部公園	北大社1634番地	○	○	○
⑪	笹尾中央公園	笹尾東2丁目6番1号	○	○	○

避難の種類

水平避難(立ち退き避難)

時間に余裕がある場合は**安全な場所にある親戚や知人の家**、または指定一般避難所に避難しましょう。

- ▶高齢者・身体の不自由な人・子どもは、隣近所で協力し合って早めの避難をしましょう。
- ▶自宅を離れる時には、火の始末、戸締りを忘れずに確認しましょう。
- ▶避難経路は、通り慣れた道で危険がない道を通りましょう。
- ▶夜間の避難は危険ですので、明るいうちに避難しましょう。



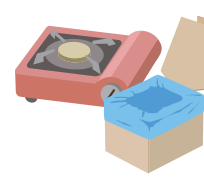
垂直避難

急激な降雨や浸水により**野外での避難行動が困難な場合は**、浸水による建物の倒壊の危険がないことを確認し、自宅や隣接建物の2階以上へ避難しましょう。



在宅避難

避難所では、共同生活による生活スペースの狭さやプライバシーの確保ができないことで、過度なストレスがかかります。そのため、**自宅の倒壊や浸水などの危険性がない場合は**、自宅で避難生活を送りましょう。カセットコンロや携帯トイレなどをしっかり備蓄しましょう。



土砂災害

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)や土石流、地すべりによって起こる災害です。

土砂災害のおそれのある区域を「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」とし、その中でも災害が発生した時に甚大な被害が生じるおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」としています。

かけ崩れ

斜面が急に崩れ落ちる現象

予兆

- ・がけから出る水が濁る。
- ・がけに亀裂が入る。
- ・小石が頻繁に落ちてくる。

土石流

山や谷の土砂が水と混じり一気に流れ出す現象

予兆

- ・川が濁り流木が混ざる。
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がりはじめる。
- ・地鳴りの音が聞こえてくる。

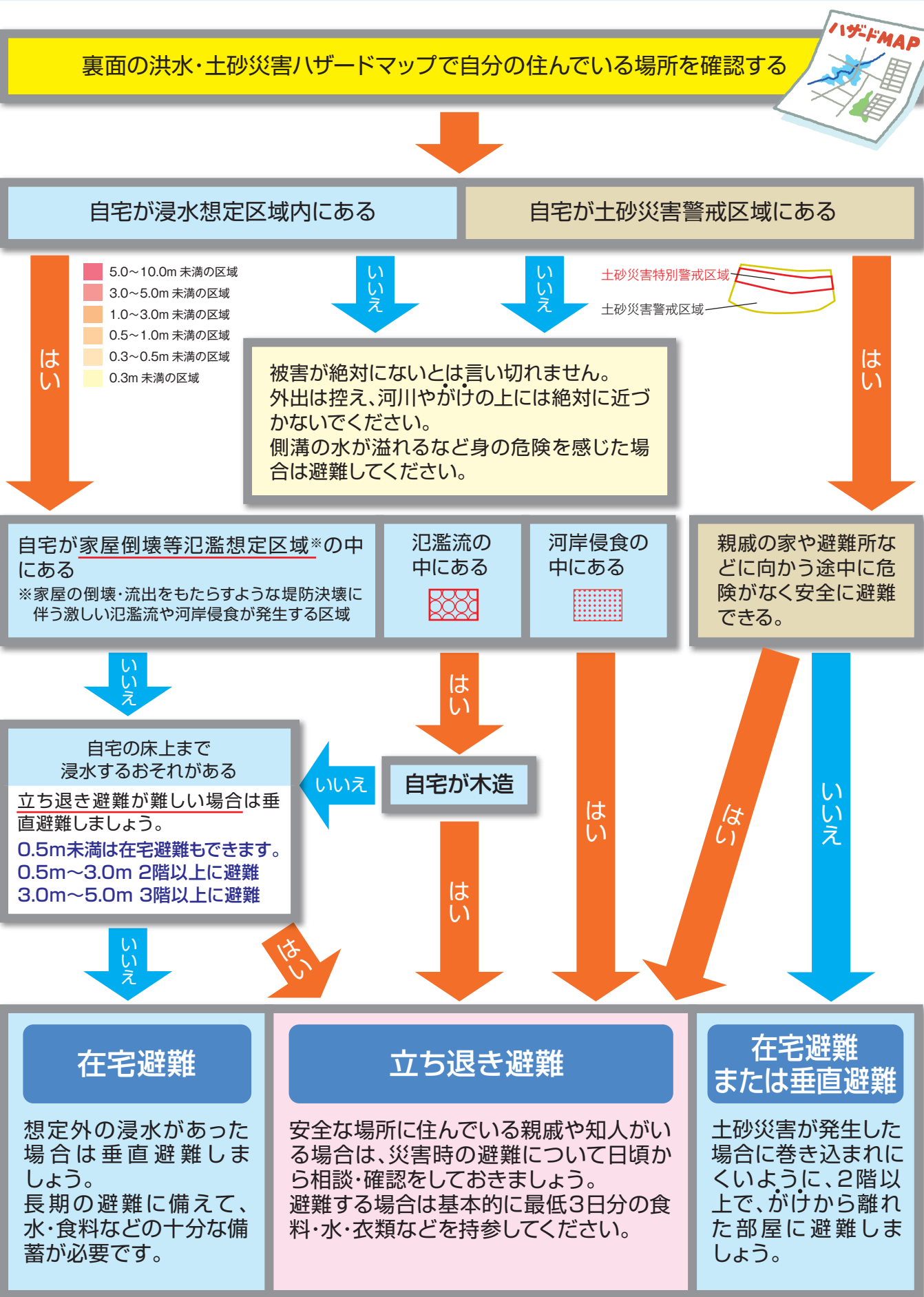
地すべり

緩い斜面が広い範囲でゆっくりすべり落ちる現象

予兆

- ・斜面や地面にひび割れができる。
- ・斜面から水がふき出る。

浸水・土砂災害時の避難行動を考えよう



備蓄品チェックリスト

最低3日分でできれば**7日分の食料**を準備しましょう

食べ物や生活用品が手に入るまで1週間かかることもあります。電気や水道も止まることも考えて、自分にとって必要なものを準備して災害に備えましょう。

飲料水の目安 1人1日3リットル × 家族人数 × 3～7日分

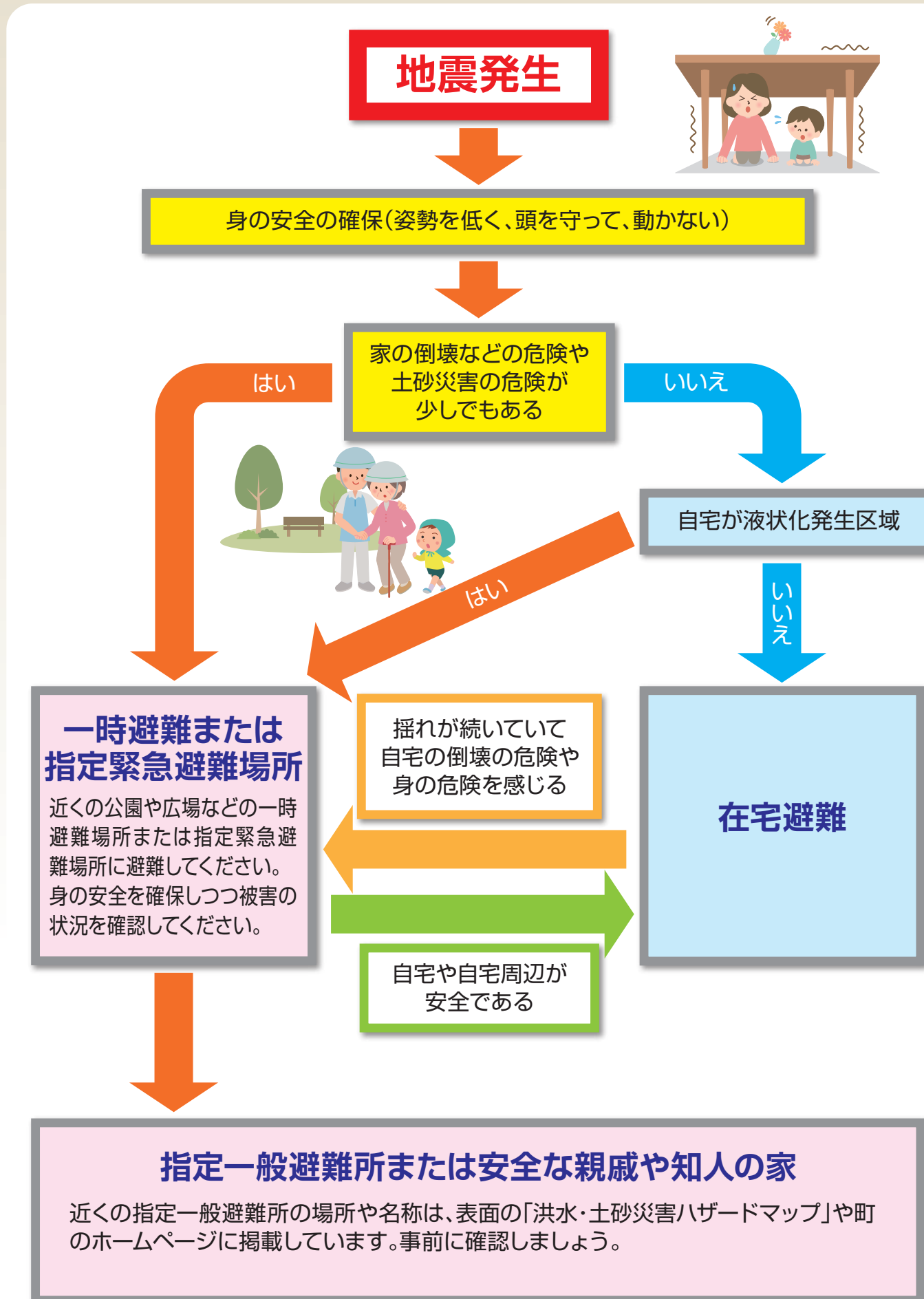
非常用備蓄用品チェックリスト

— すべての方が用意するもの —

- | | | |
|-------------------------------------|--|--|
| ☐ 水 | ☐ 予備のメガネ、コンタクトレンズ、コンタクトレンズ洗浄液 | ☐ 現金(小銭を多めに) |
| ☐ 食料 | ☐ ティッシュ、ウエットティッシュ | ☐ 免許証、健康保険証(コピーでも可) |
| ☐ 下着、上着などの衣類 | ☐ トイレットペーパー | ☐ 印鑑、預貯金通帳 |
| ☐ タオル、手袋、ポリ袋 | ☐ 石けん、水のいらないシャンプー | ☐ パスワードやログインIDのメモ |
| ☐ 雨具、防寒具 | ☐ 水のいらない歯磨き粉などの口腔ケア用品 | ☐ その他自分が必要と求めるもの |
| ☐ ヘルメット | ☐ 風邪薬、胃腸薬、ばんそうこう | ☐ |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 懐中電灯、ランタン、LEDライト | ☐ 普段飲んでいる薬、お薬手帳 |
| ☐ モバイルバッテリー | ☐ マスク、消毒液 | ☐ 子どもの大切なもの(心の拠り所になるもの) |
| ☐ マッチ、ライター | | |
| ☐ メモ帳、筆記用具 | | |

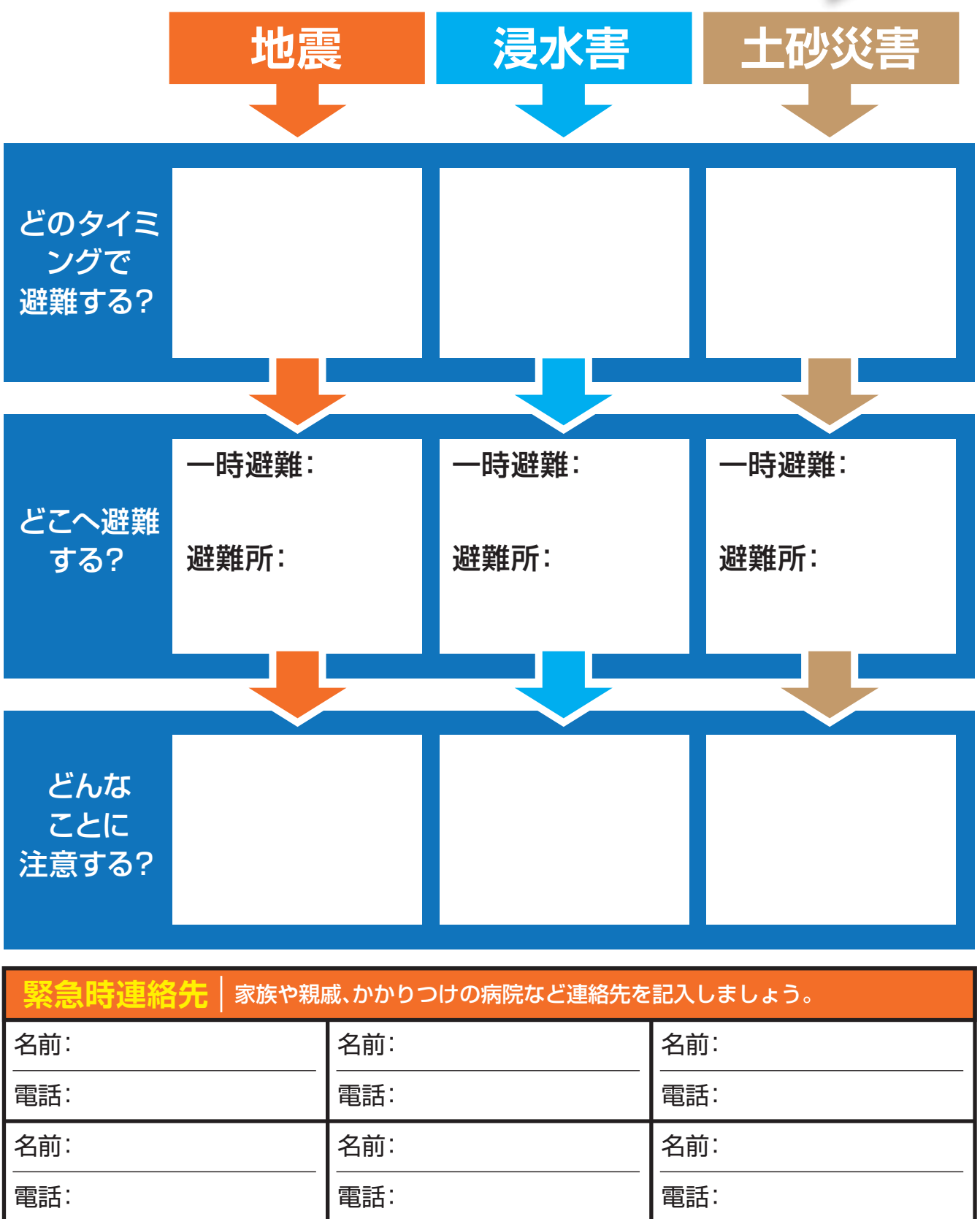
避難所に避難	在宅避難	高齢者の方や、介護が必要な家庭	乳児や妊産婦がいる家庭	ベットがいる家庭
チェックリストでチェックした中から、持ち運びやすいよう10kg程度でまとめる	☐ カセットコンロ ☐ 予備のガス	☐ 介護食 ☐ 紙おむつ、パッド ☐ 障害者手帳	☐ 哺乳びん ☐ ミルク ☐ 紙おむつ ☐ 母子健康手帳 ☐ 離乳食 ☐ 抱っこ紐	☐ ベットフード ☐ 水 ☐ リード ☐ 首輪 ☐ ゲージ ☐ ペットシート ☐ 排泄物処理用具 ☐ 食器 ☐ 薬

地震時の避難行動を考えよう



わが家の避難計画

災害が発生した時にスムーズに避難できるように避難計画を下に書き出してみよう。



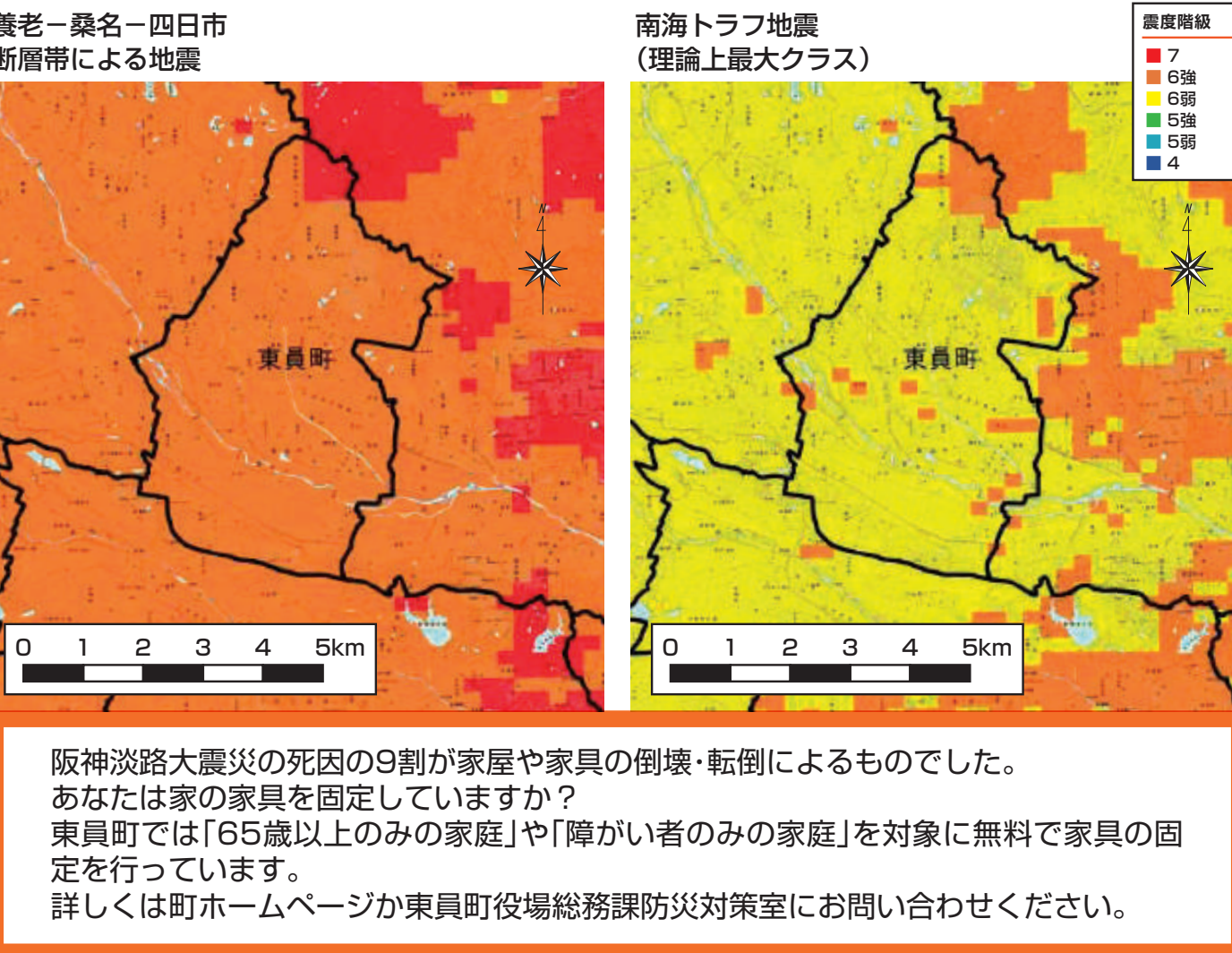
地震ハザードマップ

震度の目安

地震の大きさや地盤の状態によっては想定よりも大きく揺れることもあります。

震度	5弱	5強	6弱	6強	7
人の感じ方	ゆれに恐怖を感じ、ものにびっくりと感ずる。	物につかまらないう歩くと危うい。	立っていることが困難になる。	立っていることが出来ず、はわいといと動くことができない。	立っていることが出来ず、はわいといと動くことができない。
建物の中の様子	固定していない家具が移動することがあり、不安定なものがある。	テレビが台から落ちたり、固定していない家具が倒れることがある。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものがある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものがある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものがある。
耐震性による違い	耐震性の低い建物は、壁に軽いひびや亀裂が入ることがある。	耐震性の低い建物は、壁にひびや亀裂が入り、補強されていないブロック壁が倒れることがある。	耐震性の低い建物は、傾いたり、瓦が落下したりする。	耐震性の低い建物は、傾いたり倒れたりするものがある。	耐震性の低い建物は、傾いたり倒れたりするものがある。

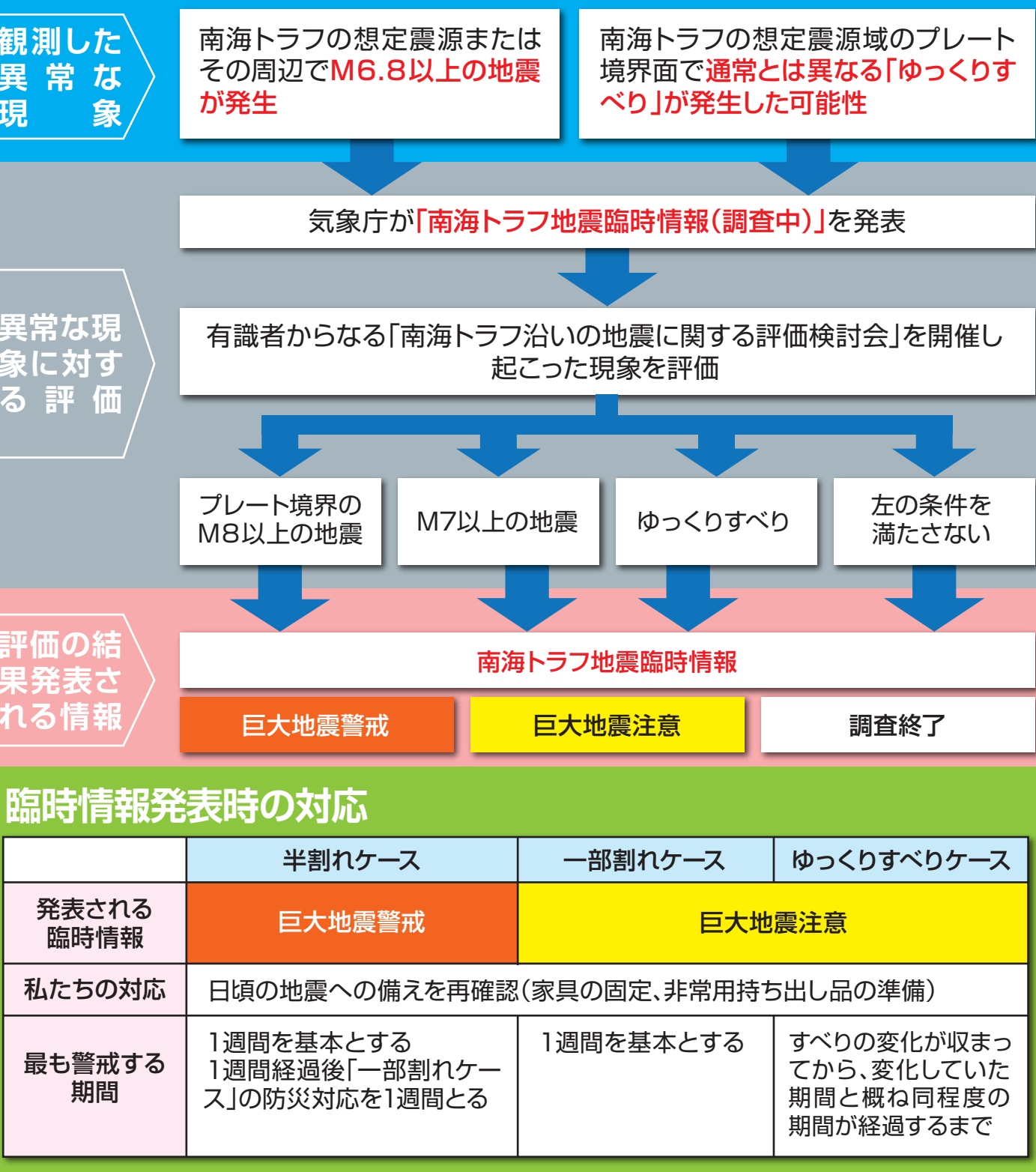
震度ハザードマップ



南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ地震臨時情報について

南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、想定震源域内で大規模地震や地殻変動など異常な現象が観測された場合に、気象庁より発表されます。例えば、南海トラフ沿いの東側で地震が発生し、西側でも地震が続発する(後発地震)可能性が高まった場合などです。



液状化ハザードマップ

液状化とは

地震が発生した際に地盤が液体状になる現象のことです。ゆるく堆積した砂地盤などは地震により激しく揺られると、まるで液体のように一時的にやわらかくなることで液状化が発生します。雨上がりに地面の上で足踏みをしてみると、次第に水が滲み出てきます。まさにこれが液状化です。

液状化による被害は地震後の生活に与える影響が大きく、長期間に及びます。

主な被害	被害事例	生活に与える主な影響	影響を及ぼす期間の目安
噴水・噴砂の発生		● 自動車の埋没による緊急避難の遅れ ● 宅地や道路への土砂の堆積 ● 乾いた土砂の飛散による粉塵被害	乾いた土砂の粉塵被害を含めると1か月程度
宅地や建物の被害		● 宅地地盤の沈下による上下水道管などの損傷 ● 住宅の機能障害(戸の開け閉めの不良合など)や傾いた家に住み続けることによる健康被害(めまいや吐き気など)	被害の程度により長期間に及ぶ場合もある
道路の被害		● 道路の損傷に伴う緊急避難・救助活動への支障 ● 通行障害に伴う物流の停止 ● 道路の損傷による転倒や事故の発生	応急復旧までは約1か月程度
ライフライン施設の被害		● 上水の供給停止による生活障害(飲料水、洗濯水、トイレ水、風呂水など) ● 下水道管の破損による生活障害(トイレ水や洗濯水などが排水できない) ● 電気やガスの供給停止による生活障害	被害規模によっては長くて1か月程度

液状化ハザードマップ

